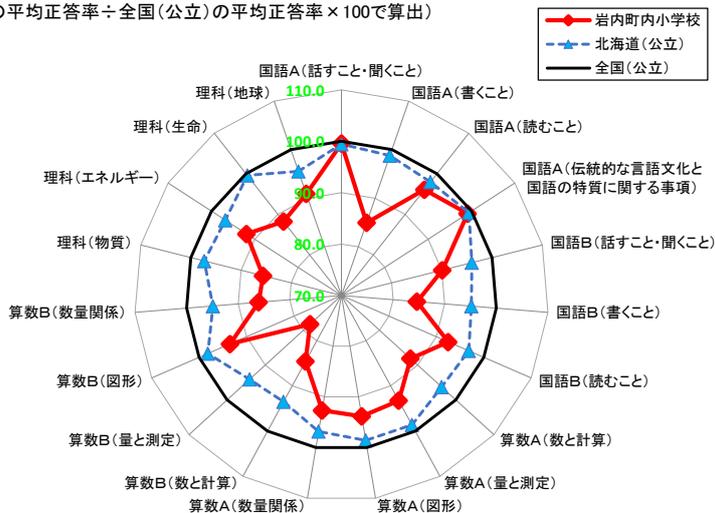


■岩内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:83人)

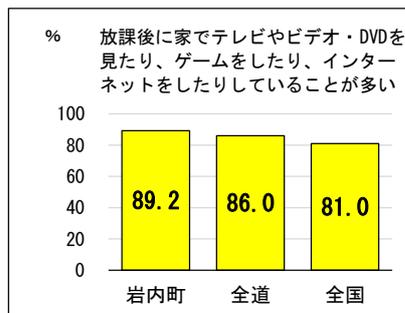
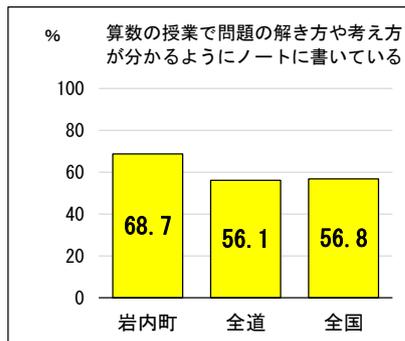
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

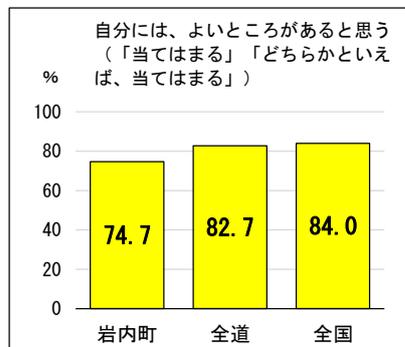
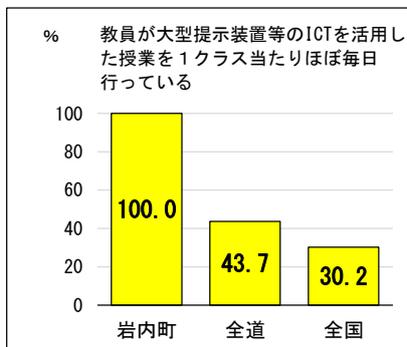
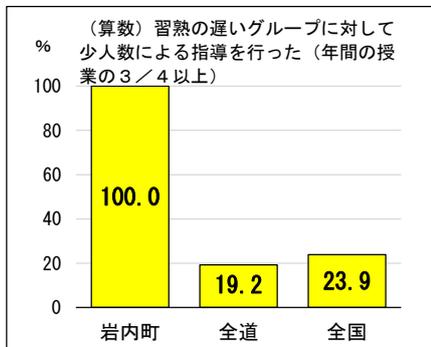
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行ったり、ICTを活用し子どもの考えを発表する場面を設定したりして、きめ細かな指導をした結果、「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「放課後に家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしていることが多い」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合が、全国及び全道を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後にテレビやビデオ・DVDの視聴等を行っている児童の割合が高いことから、家庭と連携し、家庭学習の習慣化に向けた取組を充実する必要があると考えられる。 ○ 「自分には、よいところがあると思いますか」の設問に肯定的な回答をした児童の割合が低いことから、児童が自信をもって学習活動に取り組むことができるよう、授業の中で自己肯定感を高める工夫を行うなど、引き続き授業改善を図る必要があると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「(算数)習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行った(年間の授業の3/4以上)」と回答している。 ○ 全ての学校が、「教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行っている」と回答している。 	

【岩内町の学力向上策】

- ◎ 小・中学校9年間を通じた教育課程の編成、実施
- ◎ 複数の教員や支援員の継続的な配置による個に応じたきめ細かな指導の充実
- ◎ 放課後や長期休業中の補足的な学習の充実に向けた支援